

富田地区 交通まちづくり基本構想



平成21年 4月

高 槻 市

目 次

第一章	基本構想策定の目的	
1	基本構想の策定の背景	1
2	富田地区交通まちづくり構想を策定する目的	2
3	富田地区交通まちづくり基本構想のエリア	2
第二章	富田地区の位置づけ	
1	高槻市総合計画	3
2	都市計画マスタープラン	3
第三章	富田地区の特性	
1	地理的・地形的特徴	4
2	富田の成り立ち（歴史的経緯）	4
3	鉄道の歴史	6
4	富田駅周辺の市街地整備状況	6
第四章	富田地区の現状	
1	人口の動向	7
2	土地利用	8
3	公共施設	9
4	商業	10
5	鉄道	10
6	道路	11
第五章	富田地区交通まちづくり勉強会の取組	
1	富田地区交通まちづくり勉強会の目的	17
2	富田地区交通まちづくりを考える視点について	17
3	富田地区交通まちづくり勉強会の参加メンバー	18
4	富田地区交通まちづくり勉強会の開催経過	18
5	平成19年度富田地区交通まちづくり勉強会の内容	19
6	平成20年度富田地区交通まちづくり勉強会の内容	22
第六章	富田地区交通まちづくり基本構想	
1	交通まちづくりの基本方針	28
2	ゾーニング	29
3	交通結節点の考え方	31
4	路線毎の整備方針	32
5	歴史ゾーンの整備方針	33
6	富田地区交通まちづくり基本構想	34
第七章	今後の展開方針	35

第一章 基本構想策定の目的

1 基本構想の策定の背景

「富田地区」は、JR 摂津富田駅及び阪急富田駅を中心に、市域西部の生活中心機能や商業機能が集積する地区で、高槻市総合計画及び都市計画マスタープランでは「富田都市拠点」として位置づけられています。

富田地区には、JR 東海道線と阪急京都線が平行して運行し、それぞれ摂津富田駅及び富田駅が設けられ鉄道利用に便利な町ですが、一方、鉄道と道路の平面交差（踏切）による南北市街地の地区分断と交通渋滞を起こしており、その解消のため、阪急京都線の高架化事業が長年の懸案でした。そのため、以下のような取り組みを行ってきました。

<これまでの主な取り組み>

平成 4～9 年度	立体交差事業の実現に向けた調査・検討
平成 10 年度	大阪府財政再建プログラム発表（新規事業は、当面困難） 富田西踏切暫定拡幅へ方針転換
平成 12～13 年度	富田西踏切暫定拡幅工事（平成 14 年 1 月完了）
平成 14 年度	富田西踏切暫定拡幅後の交通実態調査
平成 17 年度～	阪急電鉄(株)との立体交差検討連絡会を設置 （大阪府がオブザーバー参加）



富田西踏切の現況写真



富田東踏切の現況写真

2 富田地区交通まちづくり基本構想を策定する目的

阪急富田駅の立体交差化事業については、平成4年～9年度に実現に向けた調査・検討を行い、鉄道高架事業の都市計画決定の準備を進めてきましたが、平成10年度の大阪府財政再建プログラムの発表により、事業実施の取り組みが長期化することとなりました。

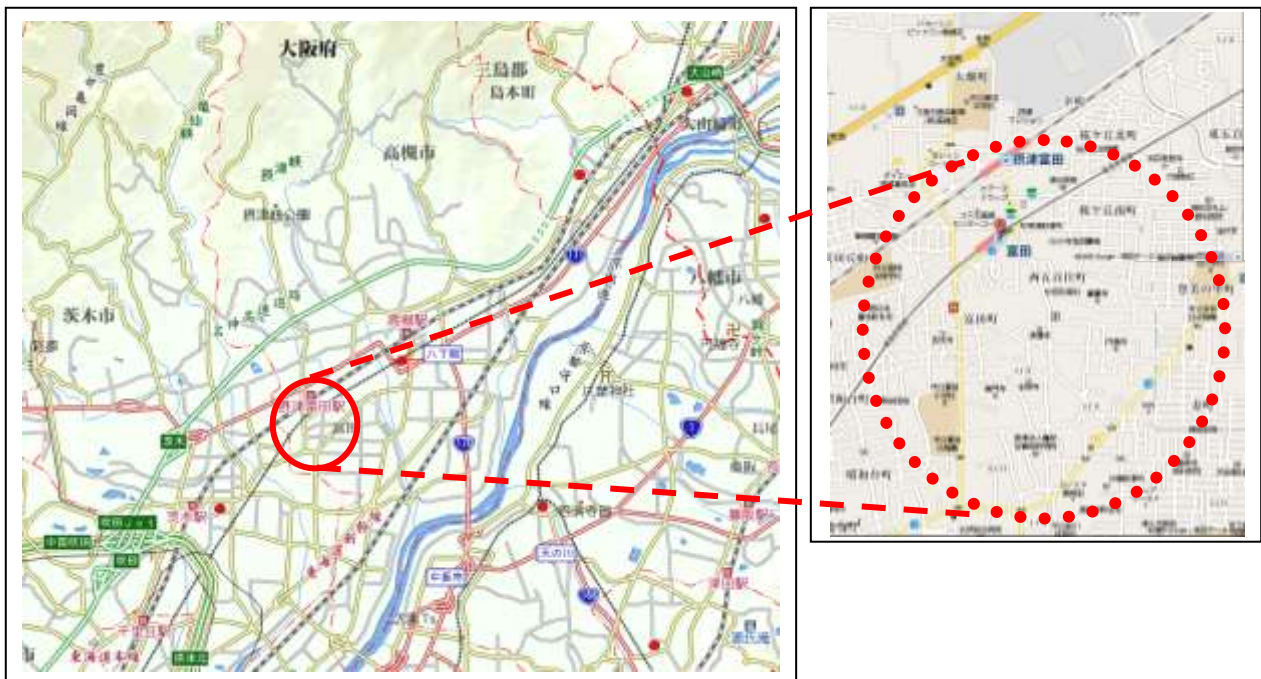
阪急京都線富田駅周辺の高架化について、現状では連続立体交差事業の採択基準に合致せず、単独立体交差事業となるため、事業主体となる地方自治体の負担が大きくなります。このことから、阪急京都線富田駅周辺の高架化の促進を図るためには、事業主体の負担軽減が大きな課題となっていました。

しかし、平成12年度に国の採択要件が緩和され、踏切道等総合対策プログラムを策定することにより、富田駅周辺においては連続立体交差事業の採択要件を満たすことが可能となりました。これによって、事業主体の負担が軽減され、高架化促進のインセンティブとなります。

これらのことから、阪急富田駅の立体交差化事業を推進していくためには、地区全体のまちづくりの将来像や目指すべき方向性を示すとともに、大阪府や国に対して富田地区のまちづくりに対する熟度の高まりも周知しながら、地域の活性化につながる阪急京都線（富田駅周辺）高架化の実現に向けて、踏切道等総合対策プログラムの基となる、富田地区交通まちづくり基本構想を策定するものです。

3 富田地区交通まちづくり基本構想のエリア

富田地区交通まちづくり基本構想のエリアは下図のとおりです。



第二章 富田地区の位置づけ

1 高槻市総合計画(平成 12 年策定)

(1) 「富田都市拠点」としての位置づけ

- ・ 市域西部の生活中心機能や商業機能が集積するエリア
- ・ 目標：市域西部の玄関口として歴史・文化的雰囲気を活かした個性的なまちづくりによる副都心地区の形成

(2) 市街地の整備～富田地区の施策

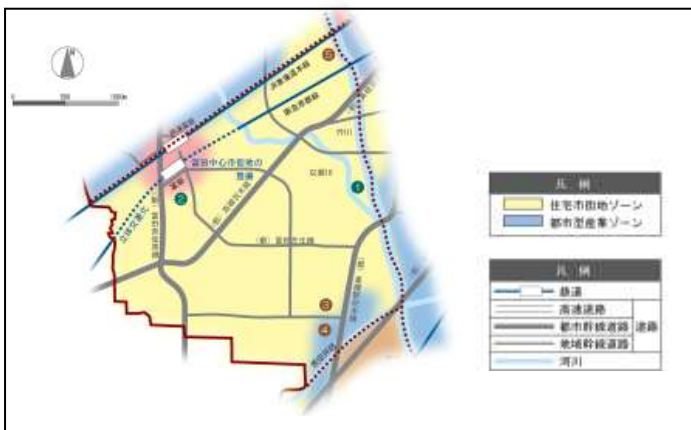
- ・ J R摂津富田駅以南について、都市計画道路富田芝生線の整備などにより、南部からの交通アクセスの向上と市街地の整備を促進
- ・ 市街地の整備の進捗状況を勘案して、府と共に阪急富田駅周辺の鉄道高架化について、引き続き促進に努める
- ・ 寺内町として発展した富田の市街地は、歴史的景観に優れている。地域と共に、これらの歴史や文化的素材を活かしたまちづくりに取り組む



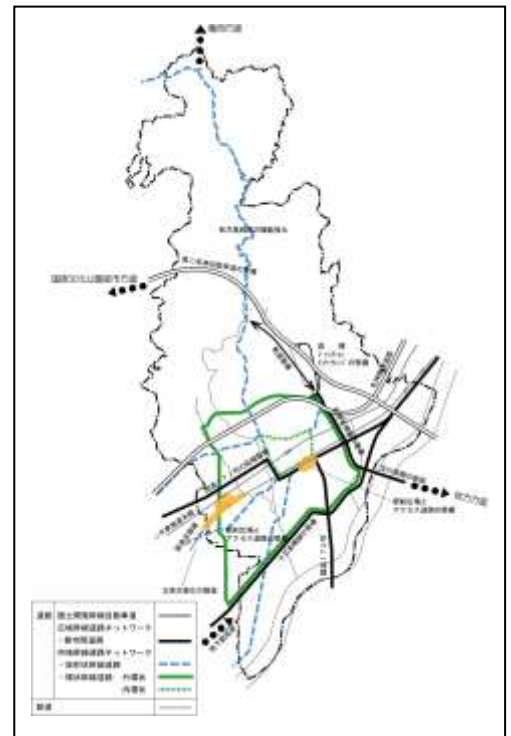
都市の将来構図－都市軸と都市拠点概念図

2 都市計画マスタープラン(平成 18 年策定)

- ・ 阪急の立体交差化と道路ネットワークの整備
 - ・・・ 駅へのアクセス改良、南北方向のネットワーク強化
- ・ 富田中心市街地の整備
 - ・・・ 駅周辺商業振興、高次都市機能の集積等
- ・ 地域の定住環境の整備
 - ・・・ 狭隘な生活道路の整備、防災性向上



如是・富田地域の整備構想図



道路交通体系の基本的な考え方